令和7年度小牧岩倉衛生組合環境センター管理委員会

第1回臨時会会議録

1 開催日時 令和7年4月23日(水)午後2時11分から午後2時36分まで

2 開催場所 小牧岩倉エコルセンター 2階研修室

3 出席委員

稲垣 貴宣	委員長	落合 健一	副委員長
野々川嘉則	委員	関谷 吉彦	委員
永井 和正	委員	井戸田通敬	委員
山田 康治	委員	三島由美子	委員
松井 隆明	委員	稲垣 淳郎	委員
伊藤 学	委員	河村 典久	委員 (学識経験者)
渡邊 浩	委員	伊藤 新治	委員
秋田 伸裕	委員		

欠席委員

赤松 修二	委員	西村多香子	委員
-------	----	-------	----

事務局

竹内 隆正	事務局長	熊崎 礎功	業務課長
永見 昭恵	総務課長	服部 和宏	業務課長補佐
稲垣 徹	業務課施設管理係長	堀田 易伯	総務課財政係長

4 議題

- (1) 委員長選出
- (2) 副委員長選出
- (3) 環境センターの施設概要等及び公害防止計画について

5 会議資料

- ・小牧岩倉衛生組合環境センター管理委員会要綱
- ・環境センターの施設概要等 (資料1)
- ・小牧岩倉衛生組合環境センターの公害防止計画書における変更について (資料2)
- ・環境センター公害防止計画
- ・小牧岩倉エコルセンターパンフレット

6 議事内容

竹内事務局長：本日は、大変お忙しい中、当組合までお越しいただきまして誠にありがとうございます。

私は、小牧岩倉衛生組合事務局長をしております竹内と申します。よろしく願いをいたします。

先ほど、委員の皆様方には委嘱状をお受け取りいただきましたが、当委員会事務局の職員につきましては、お手元に配付させていただきました名簿がございますのでご紹介に代えさせていただきます。

続きまして、委員会を始めさせていただく前に、当委員会の概要等につきまして、簡単にご説明させていただきます。以後、着座にて失礼させていただきます。

環境センター管理委員会は、年2回の定例会を開催させていただきます。委員の任期につきましては、2年となっております。当委員会の開催目的でございますが、小牧岩倉エコルセンターの運転状況をお知らせし、それに伴う騒音や振動等の公害の発生を防止するために公害防止計画を策定いたしまして、その測定結果を委員にお示しし、ご審議いただくこととしております。

なお、本日は、委員の委嘱状交付を兼ねた臨時の委員会となっております。

竹内事務局長：それでは、ただいまより、令和7年度小牧岩倉衛生組合環境センター管理委員会第1回臨時会を開会させていただきます。

本日の出席委員は、15名であります。環境センター管理委員会要綱第5条の規定によりまして会議は成立いたします。

それでは、今回が初めての委員会ですので、正・副委員長が不在であります。従いまして、正・副委員長が決まりますまでの間、私が進行を代わりに務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

竹内事務局長：議題1「委員長選出」であります。委員長の選出につきましては、小牧岩倉衛生組合環境センター管理委員会要綱第2条第2項の規定に基づきまして、委員の互選により定めることとなっております。

選出の方法につきましては、委員による指名推薦としたいと思います。ご異議ございませんか。

(異議なしの声)

竹内事務局長：ありがとうございます。指名推薦と決定させていただきます。
委員の皆様から委員長推薦のご発言をお願いしたいと思います。

松井委員：委員長には、これまで地元区であります野口区の区長さんをお願いしてきた経緯がありますので、稲垣貴宣委員さんを推薦したいと思います。

竹内事務局長：ありがとうございます。ただいま松井隆明委員から、稲垣貴宣委員を委員長に推すご発言がありました。ほかに推薦はございませんでしょうか。

(発言なし)

竹内事務局長：ほかに無いようでございますので、お諮りいたします。稲垣貴宣委員を委員長にすることにご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声)

竹内事務局長：ありがとうございます。ご異議なしと認めまして、委員長に稲垣貴宣委員が選出されました。稲垣貴宣委員、恐れ入りますが委員長席へ移動をお願いいたします。

竹内事務局長：それでは、稲垣委員長からご挨拶をお願いいたします。

稲垣委員長：就任あいさつ

竹内事務局長：ありがとうございました。これ以降の取り回しにつきましては、委員長をお願いいたします。

稲垣委員長：それでは、議題2「副委員長選出」を行います。本会の副委員長につきましては、小牧岩倉衛生組合環境センター管理委員会要綱第2条第2項の規定において、委員の互選により定めることになっております。これまで小牧市の市民生活部長にお願いしておりますので、今回につきましても、市民生活部長の落合健一委員を副委員長に推薦させていただきたいと思っております。ほかに副委員長のご推薦はあります

でしょうか。

(推薦者なし)

稲垣委員長：ほかに推薦は、無いようですのでお諮りいたします。小牧市市民生活部長の落合健一委員を副委員長に決定することにご異議ございませんか。

(異議なしの声)

稲垣委員長：ご異議なしと認め、落合委員を副委員長に決定いたします。副委員長席へお願いいたします。

稲垣委員長：それでは、副委員長からご挨拶をお願いいたします。

落合副委員長：就任あいさつ

稲垣委員長：ありがとうございました。続きまして、議題3「環境センターの施設概要等及び公害防止計画について」を議題とします。事務局の説明をお願いいたします。

熊崎業務課長：それでは、環境センターの施設概要等及び公害防止計画についてご説明させていただきます。以後、着座にて失礼させていただきます。

お手元の資料1になります、環境センターの施設概要等をご覧ください。なお、記載データについては暫定となり、4月11日現在としております。1.環境センターには、ごみ溶融施設とごみ破碎施設があります。①ごみ溶融施設には、1日当たり98.5トンのごみ処理ができるシャフト炉式ガス化溶融炉が2基あります。また、②ごみ破碎施設には、5時間で27トンの破碎処理ができる低速破碎機と高速破碎機の各1基を備えており、2段階処理を行う事で爆発や火災等のリスクを減らし、さらに磁選機とアルミ選別機による鉄とアルミの回収を行っております。2.小牧市と岩倉市の人口については、令和7年4月1日現在、小牧市は人口148,674人、岩倉市は人口47,700人、令和6年度のごみ搬入量は、小牧市33,264.98トン、岩倉市8,036.79トンです。3.ごみ量の増減比較については、令和5年度と比較して、

①燃やすごみ 0.7%の減少②粗大ごみ、可燃性 1.1%の減少③粗大ごみ、不燃性 2.0%の増加④破碎ごみ 9.3%の減少⑤埋立ごみ 29.2%の増加、合計しますと令和5年度比 1.1%の減少でした。なお、令和6年度の燃やすごみの中には、能登半島の災害ごみ 611.51 トンの可燃ごみを含んでおります。続きまして、4.ごみ処理量であります。令和5年度と比較して、①ごみ溶融施設の処理量は 1.5%の減少で、資源といたしましては、メタル 5.5%の増加、スラグ 2.2%の減少でした。②ごみ破碎施設では、処理量は 4.6%の減少で、資源といたしましては、鉄 5.2%の減少、アルミ 1.0%の減少、粗大金属 19.7%の減少でした。5.過去のごみ搬入量の推移は、平成24年度から令和6年度までの13年間の推移を表したもので、減少傾向となっております。

次に、お手元の資料2になります、小牧岩倉衛生組合環境センターの公害防止計画書における変更についてをご覧ください。令和6年1月25日に、水質汚濁防止法施行規則及び排水基準を定める省令の一部を改正する省令が公布され、大腸菌群数が、よりの確にふん便汚染を捉えることができる指標である大腸菌数に変更されたこと。また、六価クロム化合物の排出基準が強化されたことに合わせまして、協定基準値の排水の項目及び協定基準値及び測定方法・回数・測定場所の排水の項目を変更します。

環境センターの公害防止計画書の変更箇所になりますが、1.協定基準値(2)排水、No.5、項目、大腸菌群数、協定基準値、日間平均 3,000 個/cm³以下を、変更後、項目、大腸菌数、協定基準値、日間平均 800CFU/mL 以下にそれぞれ変更します。No.10、項目、六価クロム化合物の協定基準値、0.5mg/L 以下を、0.2mg/L 以下に変更。また、2.測定方法・回数・測定場所(2)排水、No.5 になりますが、項目、大腸菌群数、を変更後、項目、大腸菌数、に変更しております。

続きまして、環境センター公害防止計画について説明いたします。1ページになります。1、協定基準値について、(1)排ガス濃度をご覧ください。ばいじん 0.01g/m³以下、硫黄酸化物 20ppm 以下、窒素酸化物 30ppm 以下、塩化水素 30ppm 以下、ダイオキシン類 0.010ng-TEQ/m³以下、水銀 50 µg/m³以下です。(2)排水については、No.1の水素イオン濃度の協定基準値、日間平均値 6.0~8.5。以降 1,4-ジオキサンまでの全 33 項目の協定基準値については表中に記載されたとおりであります。2ページをお願いします。(3)の騒音については、昼夜とも 50dB 以下、(4)の振動については、昼夜とも 60dB 以下で、騒音、振動ともに測定場所は、環境センターの敷地境界線上になります。(5)

の臭気について、No.1のアンモニアの協定基準値は1ppm以下。以降、3ページに繋がる臭気指数まで全23項目の協定基準値については表中に記載されたとおりになります。4ページをお願いします。2、測定方法・回数・測定場所であります。(1)排ガス濃度、ア手分析の回数は年4回、測定場所は煙突で、測定方法は表中に記載されたとおりです。イ自動連続測定の回数は連続になります。測定場所は煙突又は煙道で、測定方法は表中に記載されたとおりです。(2)の排水、No.1の水素イオン濃度から、No.5の大腸菌数までの項目は、ごみ溶融炉が停止する全休炉期間中において、浄化槽排水を調整池へ放流する場合には測定を行っていましたが、令和6年度より下水道への排水工事により、浄化槽設備を廃止しており、調整池への放流は行っていません。以下、No.6のカドミウム及びその化合物から5ページに繋がるNo.33の1,4-ジオキサンまでは、雨水排水時に調整池西側流入口で年2回の測定を行い、測定方法は表中に記載されたとおりです。次に、5ページに移りまして、(3)騒音及び(4)振動の測定回数は年4回、測定場所は環境センター敷地境界線上6か所で、測定方法は表中に記載されたとおりです。(5)臭気の測定回数は年1回、測定場所は環境センター南側敷地境界線上で、測定方法は表中に記載されたとおりです。7ページに移りまして、3、目標環境濃度であります。(1)大気環境濃度の浮遊粒子状物質の環境基準値は0.10mg/m³以下、二酸化硫黄の環境基準値は0.04ppm以下、二酸化窒素の環境基準値は0.04ppm以下、塩化水素の基準値は0.02ppm以下です。(2)土壌環境ではダイオキシン類を測定し、環境基準値は1000pg-TEQ/g以下です。4、目標環境濃度の測定方法・回数・測定場所について、(1)大気環境濃度の測定場所は、野口区域内の1地点で測定回数は、連続測定を行い、測定方法については、表中に記載されたとおりです。(2)土壌環境のダイオキシン類について測定場所は、環境センター内の1地点で、測定回数は3年に1回の測定、測定方法は表中に記載されたとおりです。5、調整池からの排水の測定方法・回数・測定場所について、測定場所は放流口、測定回数は年2回、測定方法は表中に記載されたとおりです。続いて8ページに移りまして、6、気象の測定方法・回数・測定場所については、風向・風速及び温度・湿度の測定場所は環境センター内の測定地点において連続で測定を行います。また、野口区地内の1地点につきましても風向・風速を連続で測定しております。なお、過去の測定結果につきましてはホームページに記載しております。最後に、9ページから10ページに掛けて記載しております公害防止対

策をご覧ください。1 大気汚染防止対策、2 水質汚濁防止対策、3 騒音、振動防止対策、4 臭気防止対策、5 廃棄物等の措置、6 ごみの減量化、7 運搬車両の措置、8 測定結果の公表、9 管理体制の強化、それぞれの項目についての具体的な内容を記載しております。今後も、安全・安心な施設の運営に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

説明は以上となります。

稲垣委員長：ただいまの説明について、ご質問はありませんか。

野々川委員：環境センター公害防止計画の2、測定方法・回数・測定場所において、5ページの(5)臭気の測定場所が、環境センター南側と定めてありますが、臭気は全体にわたると思いますが、理由は何かあるのでしょうか。

熊崎業務課長：環境センターの裏である北側が山になっており、これまでの測定結果をみますと当施設は、西側からか北側からの風がほとんどであることから南側を測定しております。

野々川委員：分かりました。ありがとうございます。

稲垣委員長：ほかに質問はございませんか。なければ、議題3については、終了いたします。

稲垣委員長：続きまして「その他」について、事務局から何かありますか。

永見総務課長：次回の管理委員会の開催時期についてであります。本年8月上旬を予定しております。開催日時が決定次第、皆様にご連絡させていただきますのでよろしくお願いいたします。

事務局からは以上です。

稲垣委員長：ほかに何かございませんか。なければ、本日予定しておりました議事を終了します。これをもちまして、令和7年度小牧岩倉衛生組合環境センター管理委員会第1回臨時会を閉会いたします。

本日は、お疲れ様でした。